



甲状腺治療学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2024-06-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001600

アスタチン核種治療研究講座

論文

〔原 著〕

Ota N, Yoshimoto Y, Darwis NDM, Sato H, Ando K, Oike T, Ohno T. High tumor mutational burden predicts worse prognosis for cervical cancer treated with radiotherapy. Japanese Journal of Radiology. 202205; 40(5):534-541.

Yoshimoto Y, Murata K, Irie D, Ando K, Adachi A, Aoki H, Hirakawa T, Noda SE, Nakano T, Ohno T. A retrospective study of small-pelvis radiotherapy plus image-guided brachytherapy in stage I-II non-bulky cervical squamous cell carcinoma. Journal of Radiation Research. 202203; 63(2):290-295.

甲状腺治療学講座

論文

〔原 著〕

鈴木眞一. 福島での超音波検査の立ち上げについて. 日本内分泌外科学会雑誌. 202203; 39(1):6-10.

鈴木眞一. 福島で発見された小児若年性甲状腺癌について. 日本内分泌外科学会雑誌. 202203; 39(1):17-22.

書籍等出版物

鈴木眞一. MEN1. In: 平沢晃. 遺伝性腫瘍の基礎知識. 大阪: メディカルドゥ; 202201. p.150-156.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

鈴木眞一（座長）, 福田直樹. 特別講演 甲状腺分化癌のレンパチニブ治療～長期投与のための工夫～. TC Expert Meeting in 福島; 20220127; Web.

鈴木眞一（座長），坂本穆彦．甲状腺癌の病理診断：細胞診と組織診．第23回うつくしま甲状腺フォーラム；20220218；福島．

鈴木眞一（座長），山谷幸恵．甲状腺細胞診による遺伝子診断．第23回うつくしま甲状腺フォーラム；20220218；福島．

鈴木眞一，赤羽根武弘（座長）．第41回講習会「甲状腺結節における超音波診断の進歩」．日本超音波医学会第63回東北地方会学術集会；20220306；Web．

志村浩己（座長），金子裕眠，高橋智里，山谷幸恵，岩館学，松本佳子，鈴木眞一．甲状腺結節細胞診検体作成後の穿刺針洗浄液を用いた変異遺伝子同定の試み．第33回東北甲状腺談話会；20220312；仙台．

中島範昭（座長），松本佳子，鈴木眞一，塩功貴，立谷陽介，尾崎章彦，鈴木聡，中野恵一，岩館学，水沼廣，菅原茂耕，志賀哲，織内昇．進行甲状腺乳頭癌への非根治手術後の外照射・内照射併用療法について．第33回東北甲状腺談話会；20220312；仙台．

松本佳子（座長），塩功貴，鈴木眞一，立谷陽介，尾崎章彦，鈴木聡，中野恵一，岩館学，水沼廣．小児甲状腺癌術後の長期にわたる治療経過を経験した1例について．第33回東北甲状腺談話会；20220312；仙台．

松本佳子（座長），鈴木眞一，山谷幸恵，塩功貴，立谷陽介，尾崎章彦，鈴木聡，中野恵一，岩館学，水沼廣．福島での小児若年者甲状腺癌の再発について．第33回東北甲状腺談話会；20220312；仙台．

岩瀬弘敬（司会），鈴木眞一．映像による私の手術手技（4）内視鏡下甲状腺切除術（AAA-ETS）について．第122回日本外科学会定期学術集会；20220414-16；熊本/Web．

菊森豊根（司会），松本佳子，塩功貴，岩館学，鈴木聡，中野恵一，水沼廣，鈴木眞一．サージカルフォーラム127「甲状腺」完全内視鏡である腋窩乳輪アプローチによる内視鏡下甲状腺切除術（AAA-ETS）の検討．第122回日本外科学会定期学術集会；20220414-16；熊本/Web．

鈴木眞一（司会），伊藤研一（司会），高見博（特別発言），大場崇旦，森川大樹，網谷正統，清水忠史，大野晃一，伊藤勅子，金井敏晴，前野一真．当科における中リスク甲状腺乳頭癌患者の治療成績と原病死リスク因子の検討—術前好中球リンパ球比高値はリスク因子となりうるか？—．第122回日本外科学会定期学術集会；20220414-16；熊本/Web．

鈴木眞一（司会），伊藤研一（司会），高見博（特別発言），菊森豊根，杉野加世子，添田郁美，一川貴洋，岩瀬まどか，稲石貴弘，柴田雅央，高野悠子，武内大，角田伸行．中リスク甲状腺乳頭癌に対する外科治療のde-escalationに対する検討．第122回日本外科学会定期学術集会；20220414-16；熊本/Web．

鈴木眞一（司会），伊藤研一（司会），高見博（特別発言），田村温美，筒井英光，伊藤純子，小原亮爾，星雅恵，久保田光博，矢野由紀子，池田徳彦．中リスク甲状腺乳頭癌の治療戦略．第122回日本外科学会定期学術集会；20220414-16；熊本/Web．

鈴木眞一（司会），伊藤研一（司会），高見博（特別発言），正木千恵，杉野公則，松津賢一，大桑恵子，

北川亘, 長濱充二, 伊藤公一. 中リスク甲状腺乳頭癌の risk-adopted management. 第 122 回日本外科学会定期学術集会 ; 20220414-16; 熊本(ハイブリッド開催).

志村浩己(座長), 鈴木眞一(座長), 中野賢英, 福成信博, 佐々木栄司, 坂上聡志, 國井葉, 福島光浩, 亀山香織. 甲状腺結節診断における血流評価の役割. 第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):66.

鈴木眞一(座長), 志村浩己, 松本佳子, 岩館学, 中野賢英, 國井葉, 福島光浩, 天野高志, 北川亘, 福成信博, 村上司, 宮川めぐみ, 貴田岡正史. 甲状腺結節に対するドプラエコーの有用性に関する Feasibility Study. 第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):67.

志村浩己(座長), 鈴木眞一(座長), 塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡. SMI による甲状腺結節の血流と CD31 および α SMA による解析. 第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):68.

鈴木眞一. 甲状腺結節に対する血流評価の今後の展開. 第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):69.

塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 岩館学, 鈴木眞一. 甲状腺リンパ腫の超音波像 3 例. 第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):141.

亀田亘(座長), 橋本重厚, 長谷川浩司, 松本佳子, 岩館学, 鈴木眞一. 血糖コントロール悪化が診断の端緒となったパラガングリオーマの一例. 第 30 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会/第 42 回日本内分泌学会東北地方会; 20220430; Web.

塩功貴, 松本佳子, 岩館学, 鈴木聡, 水沼廣, 中野恵一, 鈴木眞一. SMI による甲状腺結節の血流についての検討. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220522; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):73.

鈴木眞一. Overview: 本専門医コーディネーター制度について. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):73.

鈴木眞一. 診断基準改訂に向けて, オーバービューと改訂案. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220522; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):73.

松本佳子, 塩功貴, 岩館学, 鈴木聡, 中野恵一, 鈴木眞一, 水沼廣, 中村泉. 家族性, 特に MEN1 の副甲状腺疾患の超音波診断. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220522; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):74.

塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 岩館学, 鈴木眞一. 甲状腺扁平上皮癌の超音波像 4 例. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220522; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):142.

鈴木やすよ(座長), 塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 鈴木眞一. 一般ポスター 3: 甲状腺乳頭癌リンパ節転移再発の甲状腺扁平上皮癌の 1 例. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220623; つくば/Web.

杉谷巖, 鈴木眞一(座長), 加藤弘. 臨床応用を目指した甲状腺未分化癌患者における免疫担当細胞プロファイ

ルの解析. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220624; つくば/Web.

杉谷 徹, 鈴木 眞一 (座長), 東山 卓也. 甲状腺低分化癌 (乳頭癌タイプ) 術後 11 年で肺転移が未分化転化した一例. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220624; つくば/Web.

杉谷 徹, 鈴木 眞一 (座長), 山崎 春彦. StageIVC 症例における局所切除の意義と死亡原因について. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220624; つくば/Web.

杉谷 徹, 鈴木 眞一 (座長), 山崎 春彦. 甲状腺未分化癌における oligometastasis の治療方針. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220624; つくば/Web.

鈴木 眞一 (座長), 杉田 徹. 甲状腺未分化癌に対するレンパチニブの有効性及び安全性に関する第 2 相試験 (HOPE 試験): 最終報告. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220624; つくば/Web.

塩 功貴, 松本 佳子, 岩 館学, 鈴木 聡, 中野 恵一, 水沼 廣, 鈴木 眞一, 古屋 文彦. 副甲状腺癌の超音波像 3 例. 第 49 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20221008-09; 米子/Web.

塩 功貴, 松本 佳子, 鈴木 聡, 中野 恵一, 鈴木 眞一, 古屋 文彦. 甲状腺扁平上皮癌に対しペムプロリズマブを使用し irAE 腸炎に至りインフリキシマブを要した 1 例. 第 65 回日本甲状腺学会学術集会; 20221101-03; 大阪.

鈴木 聡, 岩 館学, 古屋 文彦, 鈴木 眞一, 横谷 進, 鈴木 悟, 志村 浩己. 小児若年者における男女別甲状腺機能の変化について. 第 65 回日本甲状腺学会学術集会; 20221101-03; 大阪.

〔シンポジウム〕

志村 浩己 (座長), 鈴木 眞一 (座長). 福島県県民健康調査甲状腺検査—震災後 10 年を過ぎて—, 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):72.

鈴木 聡, 長嶺 夏希, 関野 瑞希, 鈴木 悟, 鈴木 眞一, 志村 浩己. 甲状腺内異所性胸腺の超音波所見と発見率. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):72.

鈴木 眞一. 小児・若年性甲状腺がん症例の超音波所見. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):72.

鈴木 眞一. 多発性内分泌腫瘍症の病態生理と病理について. 第 95 回日本内分泌学会学術集会; 20220603; 別府 /Web. 日本内分泌外科学会雑誌. 98(1):178.

鈴木 眞一, Malkin D. リフラウメニ症候群、内分泌腫瘍症 1/2 型—サーベイランスを極める—. 第 28 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20220617; 岡山/Web.

〔特別講演〕

鈴木 眞一 (座長), 山本 陽一朗. 医療画像と AI—形態情報の可能性に挑む—. 第 30 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会／第 42 回日本内分泌学会東北地方会; 20220430; Web.

〔その他〕

鈴木眞一（座長），佐々木栄司（座長）．甲状腺超音波ガイド下穿刺専門資格について．日本超音波医学会第95回学術集会；20220520；名古屋．超音波医学. 49(増刊):73.

鈴木眞一（座長），福成信博（座長）．甲状腺結節（腫瘍）超音波診断基準の改訂に向けて．日本超音波医学会第95回学術集会；20220522；名古屋．超音波医学. 49(増刊):73.

鈴木眞一（座長），奥川喜永．地方国立大学病院のがんゲノム医療普及への挑戦．第28回日本遺伝性腫瘍学会学術集会；20220617；岡山/Web.

鈴木眞一（座長）．甲状腺がんに対するゲノム医療を含めた最新薬物療法．第34回日本内分泌外科学会総会；20220623；つくば/Web.

杉谷巖，鈴木眞一（座長）．甲状腺未分化癌研究コンソーシアム（ATCCJ）．第34回日本内分泌外科学会総会；20220624；つくば/Web.

尾本きよか，鈴木眞一（座長）．非腫瘍性病変乳腺疾患ガイドラインとその活用法．日本超音波医学会東北地方会第42回講習会（第64回学術集会併設）；20220911；福島.

救急・生体侵襲制御学講座

論 文

〔原 著〕

Sugiyama T, Hashimoto K, Usuki R, Mori Y, Ishida T, Tameta T, Kobayashi H, Shinohara K. Transcatheter Arterial Embolization for Blunt Hepatic Trauma in a Preschooler. Endovascular Resuscitation and Trauma Management. 202209; 6(2):106-109.